



真剣に審査資料に目を通す議員

予算審査特別委員会 令和7年度各種会計等予算審査

審査：3月10日・11日・17日・18日

委員長：桜木 誠 議員
副委員長：小原 仁興 議員

令和7年度各種会計等の予算について、予算審査特別委員会審査での質疑や意見などを掲載します。

審査にあたっては、町民のニーズとの整合性や新規・拡充・見直し事業の必要性、費用対効果などに着目し、審査を行い、原案通り可決しました。

◆予算の概要

一般会計で60億6,600万円となり、27年振りに60億を超える過去2番目の予算規模となりました。

主な要因は、令和9年度に供用開始予定の名寄地区衛生施設事務組合一般廃棄物中間処理施設整備に伴う負担金3億6,184万7千円のほか、令和6年度に引き続き実施される教員住宅（1棟8戸）の整備、歯科診療所誘致事業などです。

財政を健全に運営していくために設けられている財政運営基準については毎年度、基礎的財政収支「プライマリーバランス」

（福祉や産業、公共事業など、地方債などの借金に頼らず税収でどの程度賄えているのかを示すもの）の黒字化を目指すこととし、毎年度黒字化を達成しているほか、基金及び地方債残高についても基準を満たしているとの説明を受けました。

◆委員会審査

所管課ごとに予算編成の概要などについて推進施策・事業概要書、予算書などの資料に基づき説明を受け、予算審査を行いました。

その主な審査内容は次のとおりです。

総務企画課

質問 令和6年度をもって廃止となる行政情報告知端末の回収や周知方法は、どのように行われるのか。

答 回収を行う機器や配線については、4月の公区回覧「お知らせ」の全戸配布で分かりやすく周知したい。回収する機器を

役場に持参された方には、しもりんポイントを付与し、代理での回収も可能とするなど柔軟に対応したい。

産業振興課

質問 今年の4月から産業振興基本条例が施行となり、農業・林業・商工業の各種審議会が横断的に一本化され、更に効率的で効果的な組織となっていくと考えるが、審議会の開催予定や人選は、どのようになっているのか。

答 産業振興基本条例に基づく審議会は、農業・林業・商工業部の3部会で15名を予定し、早期の開催に向けてそれぞれ要となる組織や団体などを含めて人選を考え進めている。

などの質疑答弁がありました。

